

【表紙】

【提出書類】

有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】

関東財務局長

【提出日】

2024年11月 8 日

【発行者の名称】

アフリカ輸出入銀行
(African Export-Import Bank)

【代表者の役職氏名】

チャンディ・ムウェネブング
トレジャラー兼常務理事、トレジャリー・アンド・マーケット
(Chandi Mwenebungu, Treasurer & Managing Director,
Treasury & Markets)

【代理人の氏名又は名称】

弁護士 黒 田 康 之

【住所】

東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】

03-6775-1000

【事務連絡者氏名】

弁護士 黒 田 康 之
同 井 上 貴 美 子
同 先 山 雅 規
同 齋 藤 凌
同 北 田 拓 生
同 金 井 友 樹
同 大 野 仁 衣 奈

【住所】

東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】

03-6775-1823

【縦覧に供する場所】

該当事項なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2024年10月28日付で提出した有価証券届出書の記載事項のうち、「第二部 発行者情報」の「第3 - 3 発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合」の記載の一部を訂正し、2024年9月30日に終了した9ヶ月間の財務書類を追加するため、本訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第二部 発行者情報

第3 発行者の概況

3 発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合

(1) 設立

() 設立の年月日、その目的および沿革

(5) 経理の状況

3【訂正箇所】

訂正箇所には下線を付しております。

第二部【発行者情報】

第3 【発行者の概況】

3 【発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合】

(1) 【設立】

（ ）設立の年月日、その目的および沿革

<訂正前>

（前略）

アフリカ輸出入銀行は、アフリカ輸出入銀行の憲章（以下「**憲章**」という。）および25のアフリカ諸国と3つの国際機関の間で締結された1993年5月8日付「アフリカ輸出入銀行設立条約」（以下「**設立条約**」という。）に基づき、1993年10月27日に設立され、1994年9月30日に業務を開始した。設立条約は、1995年10月、国際連合憲章に基づき、国際条約として国際連合に登録された。本書の日付現在、52のアフリカ諸国が同条約に加盟しており、同条約に署名または同意している（以下「**参加加盟国**」という。）。政府所有の機関を通じて株主である国がもう1ヶ国あるが、まだ設立条約に同意していない。アフリカ輸出入銀行の最初の支社は、1996年11月にジンバブエのハラレに開設され、その後、ナイジェリアのアブジャ（2003年）、コートジボワールのアビジャン（2015年）、ウガンダのカンパラ（2019年）、カメルーンのヤウンデ（2022年）に支店を開設した。当行のディアスポラ戦略の一環として、アフリカ輸出入銀行は貿易および投資におけるアフリカとカリブ間の協力を支援している。アフリカ輸出入銀行は、15のカリブ共同体（CARICOM）加盟国のうち12の加盟国とのパートナーシップ協定（当行の設立条約と類似である。）に署名しており、当行がCARICOMで事業を展開するための全ての特権および免責が認められている。その後、2023年にアフリカ輸出入銀行はバルバドスのブリッジタウンにカリブの代表事務所を設立した。

（後略）

<訂正後>

（前略）

アフリカ輸出入銀行は、アフリカ輸出入銀行の憲章（以下「**憲章**」という。）および25のアフリカ諸国と3つの国際機関の間で締結された1993年5月8日付「アフリカ輸出入銀行設立条約」（以下「**設立条約**」という。）に基づき、1993年10月27日に設立され、1994年9月30日に業務を開始した。設立条約は、1995年10月、国際連合憲章に基づき、国際条約として国際連合に登録された。本書の日付現在、52のアフリカ諸国が同条約に加盟しており、同条約に署名または同意している（以下「**参加加盟国**」という。）。政府所有の機関を通じて株主である国がもう1ヶ国あるが、まだ設立条約に同意していない。アフリカ輸出入銀行の最初の支社は、1996年11月にジンバブエのハラレに開設され、その後、ナイジェ

リアのアブジャ（2003年）、コートジボワールのアビジャン（2015年）、ウガンダのカンパラ（2019年）、カメルーンのヤウンデ（2021年）に支店を開設した。当行のディアスポラ戦略の一環として、アフリカ輸出入銀行は貿易および投資におけるアフリカとカリブ間の協力を支援している。アフリカ輸出入銀行は、15のカリブ共同体（CARICOM）加盟国のうち12の加盟国とのパートナーシップ協定（当行の設立条約と類似である。）に署名しており、当行がCARICOMで事業を展開するための全ての特権および免責が認められている。その後、2023年にアフリカ輸出入銀行はバルバドスのブリッジタウンにカリブの代表事務所を設立した。

（後略）

(5) 【経理の状況】

<訂正前>

（前略）

（ ）2024年6月30日に終了した6ヶ月間（上半期）の財務書類

（後略）

<訂正後>

（前略）

（ ）2024年6月30日に終了した6ヶ月間（上半期）の財務書類

（中略）

（ ）2024年9月30日に終了した9ヶ月間の財務書類

アフリカ輸出入銀行

2024年9月30日に終了した9ヶ月間の要約連結財務書類（未監査）

はじめに

2024年9月30日に終了した9ヶ月間に関する当行およびその子会社の要約財務書類には、連結および個別の包括利益計算書、連結および個別の財政状態計算書、連結および個別の株主資本等変動計算書、連結および個別のキャッシュ・フロー計算書ならびにこれらに付属する注記が含まれている。連結財務書類は、国際会計基準審議会（以下「IASB」という。）によって公表される国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）に基づいて作成されている。

本項では、当行グループの業績および財政状態について、報告された結果に影響を与えた要因を中心に記載している。

経営環境に関する記述

報告期間中、世界的な経済環境は、進行中の地政学的な緊張とそれに関連する経済的不安定性の影響を大きく受けた。ロシアとウクライナの紛争は、石油・ガス部門を中心に市場を混乱させ続け、欧州全体にインフレ圧力をもたらした。一方、中東での紛争は、市場の不確実性とインフレ圧力を増大させた。さらに、米国の選挙によって投資家の懸念が強まり、市場のボラティリティと不安定性を助長した。

インフレ率は報告期間の終わりに向けてわずかに低下したものの、世界の多くの経済に困難をもたらし続けた。主要商品、特にエネルギーと食料の価格は、世界的なサプライチェーンの混乱と地政学的な緊張により、周期的に急上昇した。インフレに対処するために、米国連邦準備制度理事会、欧州中央銀行およびイングランド銀行を含む主要国の中央銀行は、金融引き締め政策を維持し、指標金利を上昇させた。米国連邦準備制度理事会については、高金利政策によって米ドル高が進み、借入コストの上昇が経済成長へのリスクをもたらしたことで発展途上国市場に圧力を与えた。

アフリカ経済は、厳しい金融政策および財政政策、地政学的な緊張およびサプライチェーンの混乱による高インフレ率ならびに長期にわたる干ばつおよび食料不安から生じる多くの逆風にもかかわらず、強靭さを維持した。

前述の課題にもかかわらず、アフリカはアフリカ大陸自由貿易協定（AfCFTA）の実施において進展を見せた。このAfCFTAは、現地における生産、工業化、経済の多角化、クリーンエネルギーの生産を含むインフラ開発を促進し、それによってアフリカ域内貿易を強化・促進し、経済成長の新たなフロンティアを開くことが期待されている。アフリカ輸出入銀行およびその子会社は、AfCFTAの実施を支援する上で引き続き重要な役割を果たしており、これはアフリカが世界経済の不確実性をより効果的に乗り切るのにも役立つと期待されている。

上記を踏まえ、経営陣は、2024年9月30日に終了した9ヶ月間の当行グループの財務報告を実施する。この報告は、当行の業績が前年比で大幅に改善し、予想に沿ったものであったことを示している。当行グループの業績については、以下で詳述する。

当行グループの業績の概要

- ・ 2024年9月30日に終了した9ヶ月間（2024年の最初の9ヶ月間）の利息収入は、2023年9月30日に終了した9ヶ月間（2023年の最初の9ヶ月間）における1.8十億米ドルから24.67%増加して2.2十億米ドルとなった。
- ・ 2024年の最初の9ヶ月間の利息収益（純額）は、2023年の最初の9ヶ月間の1十億米ドルから22.05%増加し、1.3十億米ドルとなった。
- ・ 2024年の最初の9ヶ月間の純利益は、2023年の最初の9ヶ月間の522.5百万米ドルから22.89%増加して642.2百万米ドルとなった。
- ・ 経費比率は、2023年の最初の9ヶ月間には16.79%であったのに対して2024年の最初の9ヶ月間は17.16%であった。
- ・ 2024年9月末の貸付金および前払金（純額）は27.1十億米ドルであり、2023年12月31日（2023会計年度）における残高の26.7十億米ドルから1.33%の緩やかな増加となった。
- ・ 資産合計および偶発負債は、2023会計年度は37.3十億米ドルであったのに対して、2024年9月末は36.3十億米ドルであった。
- ・ 当行グループの資産合計に占める現金の割合は、2023会計年度の16.80%に対し、2024年9月末は12.17%であった。

- ・ 2024年9月30日現在の不良債権（NPL）比率は、2.42%（2023会計年度は2.47%）であった。
- ・ 2024年の最初の9ヶ月間において、当行グループの平均株主資本利益率（ROAE）は13.46%（2023年の最初の9ヶ月間は12.17%）、平均資産利益率（ROAA）は2.64%（2023年の最初の9ヶ月間は2.34%）であった。
- ・ 自己資本比率は、2024年9月末時点で24.86%（2023会計年度末時点では23.77%）であった。

連結損益およびその他の包括利益計算書ならびに連結財政状態計算書のより詳細な分析は以下のとおりである。

当行グループの利息収益および手数料

2024年の最初の9ヶ月間の利息収入の総額は、2023年の最初の9ヶ月間は1.8十億米ドルであったのに対して、2.2十億米ドルに達した。利息収入における24.67%の増加は、2023年の最初の9ヶ月間から2024年の最初の9ヶ月間にかけての市場金利の上昇および利息収入資産の平均残高の増加によるものである。

2024年の最初の9ヶ月間の利息費用は、2023年の最初の9ヶ月間に計上された741.8百万米ドルに対して、966.5百万米ドルであった。これは、有利子負債の増加および高金利環境の拡大によるものである。

上記の結果、2024年の最初の9ヶ月間の利息収益（純額）は、2023年の最初の9ヶ月間から22.05%増加し、1.3十億米ドルとなった。これは、2024年の最初の9ヶ月間における利息収入の増加および借入コストの効率的かつ効果的な管理の効果を反映している。

2024年の最初の9ヶ月間の純金利スプレッドは4.06%となり、2023年の最初の9ヶ月間における4.10%と同水準であった。

2024年の最初の9ヶ月間における手数料収入は、96.7百万米ドルとなり、2023年の最初の9ヶ月間に計上された86.2百万米ドルから12.18%増加した。かかる業績は、アドバイザリー・サービス、信用状（LC）および保証によって得た手数料が、それぞれ35.8百万米ドル（2023年の最初の9ヶ月間は26.4百万米ドル）、43.3百万米ドル（2023年の最初の9ヶ月間は39.9百万米ドル）および14.9百万米ドル（2023年の最初の9ヶ月間は15.6百万米ドル）だったことによるものである。保証および信用状の平均残高の増加が、各手数料収入の成長の主要因となった。

当行グループの営業費用

2024年の最初の9ヶ月間の営業費用の合計は、2023年の最初の9ヶ月間の190.2百万米ドルから23.47%増加して234.8百万米ドルとなった。

営業費用のかかる23.47%の増加は、主に以下に起因する。

- ・ 当行グループが第6次戦略計画の実施を推し進める中で、業務量の増加に対応するために追加で採用した人員により、人件費が2023年の最初の9ヶ月間の81.8百万米ドルから2024年の最初の9ヶ月間には101.5百万米ドルへと24.05%増加したこと。
- ・ 事業拡大に伴い、9ヶ月間の一般管理費が22.13%増加して119.2百万米ドル（2023年の最初の9ヶ月間は97.6百万米ドル）となったこと。

当行グループの営業費用には、子会社で発生した合計3.7百万米ドルの人件費（2023年の最初の9ヶ月間は2.3百万米ドル）および4.5百万米ドルの一般管理費（2023年の最初の9ヶ月間は1百万米ドル）が含まれている。

2024年の最初の9ヶ月間の当行グループの経費比率は17.16%（2023年の最初の9ヶ月間は16.79%）となり、行内における戦略上の上限である30%を十分に下回った。

貸付金の質および予想信用損失

2024年9月30日現在、信用減損貸付金（NPL）は、貸付金および前払金合計の2.42%（2023会計年度は2.47%）を占めた。IFRS第9号の適用範囲に含まれる貸付金および前払金ならびにその他の金融商品の残高の累積予想信用損失（ECL）は1.6十億米ドル（2023会計年度は1.3十億米ドル）であり、適切であると評価された。これにより、当報告期間の損益計算書のECL費用は合計492.1百万米ドル（2023年の最初の9ヶ月間は410.7百万米ドル）となった。

下表は、IFRS第9号に規定されるステージ1、ステージ2およびステージ3のカテゴリーに分類された貸付金および前払金の内訳である。ステージ1およびステージ2に分類された貸付金および前払金には減損の客観的兆候は認められず、2024年の最初の9ヶ月間において、貸付金および前払金合計の97.58%（2023会計年度は97.53%）を占めた。ポートフォリオ全体に対して減損の客観的証拠を示さない貸付金および前払金の割合が非常に高いこと（97.58%）は、ローン・ポートフォリオの健全性を示すものである。この状況は、2023年同期（96.15%）および2023年12月31日に終了した会計年度全体（97.53%）と比較しても、ほぼ一貫して維持されている。

NPL比率は、当行のリスク選好水準の範囲内で推移しており、貸付金および前払金の健全性を明確に示すものであった。この良好な結果は、当行のストラクチャード・トレード・ファイナンスに基づく融資がもたらした好影響、その効果的なリスク管理戦略、当行の参加国による優先債権者としての強力な対応およびアフリカ市場とそのニーズに対する深い理解に直接起因するものである。

IFRS第9号の区分 - 貸付金および前払金 - 当行				
	2024年9月30日			
	2024年の最初の9ヶ月間			
（単位：千米ドル）	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
総額	25,955,783	2,136,585	697,375	28,789,743
損失評価引当金	(176,280)	(798,833)	(410,586)	(1,385,699)
停止中の利息	-	-	(227,620)	(227,620)
引当金合計	(176,280)	(798,833)	(638,206)	(1,613,319)
簿価	25,779,503	1,337,751	59,168	27,176,423

IFRS第9号の区分 - 貸付金および前払金 - 当行				
	2023年12月31日			
	2023会計年度			
（単位：千米ドル）	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
総額	25,730,151	1,674,873	693,412	28,098,436
損失評価引当金	(140,487)	(556,550)	(356,863)	(1,053,900)
条件変更による損失	-	(7,756)	-	(7,756)
停止中の利息	-	-	(262,047)	(262,047)
引当金合計	(140,487)	(564,306)	(618,910)	(1,323,703)
簿価	25,589,664	1,110,567	74,502	26,774,733

ステージ1 - 当初認識以降の信用リスクが著しく増加していないか、または報告日現在の信用リスクが低い金融商品

ステージ2 - 当初認識以降の信用リスクが著しく増加しているが、減損の客観的証拠がない金融商品

ステージ3 - 報告日現在減損の客観的証拠がある金融商品

当行グループの資産および偶発負債

当行グループのオンバランスシートの資産（資産合計）および偶発負債の合計は、2024年9月末において36.3十億米ドル（2023会計年度は37.3十億米ドル）であった。

当行グループの2024年9月末における資産合計は、32.2十億米ドル（2023会計年度は33.5十億米ドル）であった。

貸付金および前払金（純額）は、2024年9月末現在当行グループの資産合計の84.09%（2023会計年度は79.84%）を占め、27.1十億米ドル（2023会計年度は26.7十億米ドル）であった。貸付金および前払金の1.33%の増加は、当行の予想どおりであった。

当行グループの現金および現金同等物の残高は、2024年9月末において3.9十億米ドル（2023会計年度は5.6十億米ドル）であった。かかる現金および現金同等物の減少は、当行が、満期を迎える債務を内部資金を用いて返済する一方で、過剰流動性の保有に関連する費用を管理するという意図的な戦略を行ったことが要因である。資産合計に対する現金および現金同等物の比率は、2024年9月末において12.17%（2023会計年度は16.80%）と、引き続き高水準でかつ当行の戦略的水準の範囲内であった。かかる高い流動性水準により、当行グループは、満期を迎える債務の確実な返済を含め、影響力のある事業活動計画を継続することができた。

2024年9月末において、当行グループの偶発負債（主に信用状および保証から成る。）は4.1十億米ドル（2023会計年度は3.8十億米ドル）であった。この増加は、この事業分野を拡大するという当行の意図的な戦略によるものである。

2024年9月末の当行グループの資産合計には、FEDAホールディング・カンパニーのインパクト投資333.6百万米ドル（2023会計年度は297.2百万米ドル）が含まれている。

当行グループの負債

当行グループの負債合計は、2023会計年度は27.3十億米ドルであったのに対して6.42%減少し、2024年9月末には25.6十億米ドルとなった。

銀行預り金および発行済負債証券は、2024年9月末現在でそれぞれ13.5十億米ドル（2023会計年度は12.6十億米ドル）および2.1十億米ドル（2023会計年度は2.9十億米ドル）となった。銀行預り金は883.6百万米ドル増加して貸付金の伸びを支えた一方、発行済負債証券の減少は、満期を迎えた債券の償還によるものであった。2024年9月末現在の短期金融市場負債は1.9十億米ドルとなり、2023会計年度の1.4十億米ドルを34.69%上回った。

2024年9月末現在、当行グループの負債に占める借入金合計（銀行預り金および発行済負債証券）の割合は61.03%（2023会計年度は56.61%）であった。当行グループの負債合計に占める預金および顧客勘定の割合は30.23%（2023会計年度は37.22%）、当行グループの負債合計に占める短期金融市場負債の割合は7.25%（2023会計年度は5.03%）であった。

当行グループの負債合計には、子会社が当行グループ外の第三者に支払うべき2.5百万米ドルが含まれている。

株式資本

当行グループの資本合計は、2023会計年度の6.1十億米ドルであったのに対して7.96%増加し、2024年9月末現在は6.6十億米ドルに達した。かかる増加は主に、進行中の一般増資（GCI）に参加した既存株主および

新規株主からの169.4百万米ドルの新規持分出資によるものである。また、資本合計の増加は、承認された配当およびその他の処分を考慮後の327.5百万米ドルの内部発生純利益によるものであった。配当およびその他の処分は、合計314.6百万米ドルとなった。

当行の請求払資本は、当行の資本管理戦略の一環としてその大部分が信用強化されたものであり、2024年9月30日現在3.8十億米ドル（2023会計年度は3.7十億米ドル）となった。

結論

当行グループは、健全な流動性水準、質の高い金融資産および強固な資本水準によって証明された強固な財政状態で第3四半期を終え、再び堅調な業績を達成した。厳しい経営環境にもかかわらず、2024年9月30日に終了した9ヶ月間における当行グループの収益性は予想を達成し、前年比で大幅に改善し、その回復力および業務効率が際立った。

経営陣は、2026年12月に終了する当行グループの第6次戦略計画で概説されるとおり、成長戦略ならびに持続可能な成長および収益を達成する能力に引き続き自信を持っている。困難な環境で事業を行う際の課題に対処し、軽減するために実施された戦略的措置は、将来の業績および成長のための強固な基盤を提供する。当行グループは、引き続き収益性の達成、健全な純金利スプレッド、流動性および安全性の維持のバランスを慎重に取りつつ、持続可能な成長を追求し質の高い資産のポートフォリオを維持していく。

当行グループの財務比率

	2024年の最初の 9ヶ月間	2023会計年度	2023年の最初の 9ヶ月間
収益性			
平均資産利益率（ROAA）	2.64%	2.56%	2.34%
平均株主資本利益率（ROAE）	13%	13%	12%
経営効率			
経費比率	17%	17%	17%
資産内容			
不良債権（NPL）比率	2.42%	2.47%	3.85%
流動性			
資産合計に占める現金の割合	12%	17%	15%
自己資本			
自己資本比率	25%	24%	25%

2024年9月30日現在の財政状態計算書（連結・個別）

(単位：千米ドル)	当行グループ			当行		
	2024年9月	2023年12月	2023年9月	2024年9月	2023年12月	2023年9月
資産						
現金および現金同等物	3,919,620	5,621,887	4,477,969	3,919,095	5,621,431	4,477,574
リスク管理目的で保有するデリバティブ資産	-	3,763	4,337	-	3,763	4,337
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	333,630	297,205	223,689	-	-	-
顧客に対する貸付金および前払金	27,079,258	26,722,831	24,856,353	27,176,423	26,774,733	24,856,353
前払金および未収金	89,261	145,595	117,554	158,773	203,842	120,005
償却原価で計上される投資有価証券	370,499	318,838	320,447	370,499	318,838	320,447
その他の資産	22,448	18,547	73,904	20,999	18,280	73,555
固定資産	376,369	328,712	192,922	236,713	226,130	192,505

無形資産	9,709	11,231	10,645	9,709	11,231	10,645
子会社に対する投資	二	二	二	318,497	295,542	221,879
資産合計	32,200,794	33,468,609	30,277,820	32,210,708	33,473,790	30,277,300
負債						
リスク管理目的で保有するデリバティブ負債	30,997	25,751	69,424	30,997	25,751	69,424
短期金融市場預金	1,854,358	1,376,761	1,319,141	1,859,802	1,377,820	1,319,141
銀行預り金	13,513,334	12,629,756	11,741,126	13,513,334	12,629,756	11,741,126
預金および顧客勘定	7,736,231	10,178,933	7,644,363	7,750,547	10,188,316	7,648,101
発行済負債証券	2,104,906	2,852,509	3,375,576	2,104,906	2,852,509	3,375,576
その他の負債および貸倒引当金	353,215	284,121	303,255	350,751	281,463	301,314
負債合計	25,593,041	27,347,831	24,452,885	25,610,337	27,355,615	24,454,682
資本						
株式資本	947,193	920,528	911,228	947,193	920,528	911,228
株式プレミアム	2,330,779	2,188,009	2,152,498	2,330,786	2,188,009	2,152,498
ワラント	171,421	183,914	183,914	171,421	183,914	183,914
準備金	1,438,869	1,438,869	1,156,592	1,438,869	1,438,869	1,156,592
留保利益	1,717,822	1,389,458	1,420,703	1,712,102	1,386,855	1,418,386
当行の所有者に帰属する資本および準備金	6,606,084	6,120,778	5,824,935	6,600,371	6,118,175	5,822,618
非支配持分	1,669	二	二	二	二	二
資本合計	6,607,753	6,120,778	5,824,935	6,600,371	6,118,175	5,822,618
負債および資本合計	32,200,794	33,468,609	30,277,820	32,210,708	33,473,790	30,277,300

2024年9月30日に終了した9ヶ月間における損益計算書（連結・個別）

(単位：千米ドル)	当行グループ		当行	
	2024年9月	2023年9月	2024年9月	2023年9月
利息収入	2,219,432	1,780,246	2,226,270	1,780,246
利息費用	(966,468)	(741,778)	(966,551)	(741,778)
その他の利息費用	14,314	(157)	(929)	(10,024)
利息収益（純額）	1,267,278	1,038,311	1,258,790	1,028,444
手数料収入	96,660	86,168	96,203	86,138
手数料費用	(3,700)	(6,364)	(3,700)	(6,364)
手数料収入（純額）	92,960	79,804	92,503	79,774
その他の営業利益	8,035	14,910	8,011	14,890
人件費	(101,507)	(81,827)	(97,779)	(79,556)
一般管理費	(119,238)	(97,629)	(114,695)	(96,600)
減価償却費および償却費	(14,099)	(10,746)	(13,272)	(10,673)
為替調整	16,274	(8,509)	16,268	(8,647)
純損益を通じて公正価値で測定される金融商品からの公正価値損失	(15,437)	(1,075)	(17,849)	(8,074)
金融商品に係る信用損失	(492,094)	(410,700)	(492,094)	(410,700)
当期純利益	642,171	522,539	639,883	508,857
帰属先：				
アフリカ輸出入銀行の所有者	643,001	522,539	639,883	508,857
AfCFTAアジャストメント・ファンドの非支配持分	(831)	二	二	二
	642,171	522,539	639,883	508,857

2024年 9 月30日に終了した 9 ヶ月間における当行グループの持分変動計算書

	株式資本	株式 プレミアム	非支配 持分	ワラント	一般 準備金	資産 再評価 準備金	事業準備用 資金 積立金	留保利益	合計
(単位：千米ドル)									
2023年12月31日現在の残高	920,528	2,188,009	-	183,914	1,375,908	54,192	8,768	1,389,458	6,120,777
包括利益合計									
当該期間における純利益	-	-	(831)	-	-	-	-	643,001	642,171
包括利益 / (損失) 合計	-	-	(831)	-	-	-	-	643,001	642,171
当行の株主との取引									
発行済未償還ワラント費用	-	-	-	(12,493)	-	-	-	-	(12,493)
当該期間中において発行済かつ 払込済の資本	26,665	142,770	2,500	-	-	-	-	-	171,935
当該期間における配当	-	-	-	-	-	-	-	(314,637)	(314,637)
2024年 9 月30日現在の残高	947,193	2,330,779	1,669	171,421	1,375,908	54,192	8,768	1,717,823	6,607,754

2022年12月31日現在の残高	849,504	1,909,267	-	183,915	1,104,893	40,722	10,977	1,107,516	5,206,793
包括利益合計									
当該期間における純利益	-	-	-	-	-	-	-	522,539	522,539
包括利益合計	-	-	-	-	-	-	-	522,539	522,539
当行の株主との取引									
当該期間中において発行済かつ 払込済の資本	61,724	243,231	-	-	-	-	-	-	304,955
当該期間における配当	-	-	-	-	-	-	-	(209,352)	(209,352)
2023年 9 月30日現在の残高	911,228	2,152,498	-	183,915	1,104,893	40,722	10,977	1,420,703	5,824,935

2024年 9 月30日に終了した 9 ヶ月間における当行の持分変動計算書

	株式資本	株式 プレミアム	ワラント	一般 準備金	資産 再評価 準備金	事業準備用 資金 積立金	留保利益	合計
(単位：千米ドル)								
2023年12月31日現在の残高	920,528	2,188,009	183,914	1,375,908	54,192	8,768	1,386,855	6,118,175
包括利益合計								
当該期間における純利益	-	-	-	-	-	-	639,883	639,883
包括利益合計	-	-	-	-	-	-	639,883	639,883
当行の株主との取引								
発行済未償還ワラント費用	-	-	(12,493)	-	-	-	-	(12,493)
当該期間中において発行済かつ払 込済の資本	26,665	142,777	-	-	-	-	-	169,442
当該期間における配当	-	-	-	-	-	-	(314,637)	(314,637)
2024年 9 月30日現在の残高	947,193	2,330,786	171,421	1,375,908	54,192	8,768	1,712,102	6,600,371

2022年12月31日現在の残高	849,504	1,909,267	183,915	1,104,893	40,722	10,977	1,118,881	5,218,158
包括利益合計								
当該期間における純利益	-	-	-	-	-	-	508,857	508,857
包括利益合計	-	-	-	-	-	-	508,857	508,857
当行の株主との取引								
当該期間中において発行済かつ払 込済の資本	61,724	243,231	-	-	-	-	-	304,955
当該期間における配当	-	-	-	-	-	-	(209,352)	(209,352)
2023年 9 月30日現在の残高	911,228	2,152,498	183,915	1,104,893	40,722	10,977	1,418,386	5,822,618

2024年 9 月30日に終了した 9 ヶ月間におけるキャッシュ・フロー計算書（連結・個別）

当行グループ	当行
--------	----

(単位：千米ドル)	2024年9月	2023年9月	2024年9月	2023年9月
営業活動によるキャッシュ・フロー				
当該期間における純利益	642,171	522,539	639,883	508,857
利息収益（純額）および非現金項目の調整：				
金融商品に係る信用損失	492,094	410,700	492,094	410,700
減価償却費および償却費	14,099	10,746	13,272	10,673
金融資産およびデリバティブ商品における公正価値損失	15,437	1,075	17,849	8,074
営業活動によるキャッシュ・フロー（営業用資産および負債の増減前）	1,163,801	945,059	1,163,098	938,305
増減：				
前払金および未収金	56,334	9,391	45,069	6,964
デリバティブ商品	(8,840)	8,435	(8,840)	8,435
その他の資産	(3,902)	(17,921)	(2,719)	(16,615)
その他の負債	(258,232)	69,797	(245,348)	74,008
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	(36,425)	(45,428)	-	-
短期金融市場預金	481,982	(345,513)	481,982	(345,513)
預金および顧客勘定	(2,442,702)	(616,140)	(2,437,769)	(620,690)
顧客に対する貸付金および前払金	(759,933)	(2,407,326)	(803,480)	(2,407,326)
営業活動によるキャッシュ・フロー（純額）	(1,807,916)	(2,399,646)	(1,808,006)	(2,362,432)
投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産およびソフトウェアに対する支払額	(33,558)	(48,937)	(10,583)	(48,659)
償却原価で保有される金融資産の購入	(51,661)	(31,329)	(51,661)	(31,329)
子会社に対する投資	-	-	(22,955)	(37,499)
投資活動によるキャッシュ・フロー（純額）	(85,219)	(80,266)	(85,199)	(117,486)
財務活動によるキャッシュ・フロー				
増資および株式プレミアムによる現金	169,442	304,955	169,442	304,955
発行済未償還ワラント費用	(12,493)	-	(12,493)	-
配当金支払額	(102,056)	(48,447)	(102,056)	(48,447)
銀行預り金および負債証券における変動（純額）	135,976	2,601,748	135,976	2,601,748
財務活動によるキャッシュ・フロー（純額）	190,869	2,858,256	190,869	2,858,256
現金および現金同等物の純（減少）／増加	(1,702,267)	378,345	(1,702,336)	378,335
1月1日現在の現金および現金同等物	5,621,887	4,099,624	5,621,431	4,099,238
9月30日現在の現金および現金同等物	3,919,620	4,477,969	3,919,095	4,477,574